

学校だより「花里の子」

令和7年度 第12号（令和7年10月10日）

伊丹市立花里小学校長 小木曾 笑子

令和7年度全国学力・学習状況調査、CRT調査を踏まえ

「花里の子学力向上プラン」を策定しました

6年生を対象に、令和7年4月17日に実施された「全国学力・学習状況調査」では、国語、算数の学力調査と学習の基盤となる意欲・習慣等の質問紙調査が行われました。その結果を分析し、今後の学力向上に向けての取組を裏面の「花里の子学力向上プラン」としてまとめました。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校での教育活動における一つの側面です。

【学力に関する調査結果について】

速報でお知らせいたしましたとおり、国語、算数共に正答率（受検者に対する正答者の割合）は、ほぼ全国平均並み、理科は全国平均を下回っていました。

質問	R7花里	R7全国
国語の勉強は好きですか	45.8%	58.3%
国語の授業の内容はよく分かりますか	77.1%	82.8%
算数の勉強は好きですか	57.4%	57.9%
算数の授業の内容はよく分かりますか	75.4%	78.3%
理科の勉強は好きですか	86.9%	78.4%
理科の授業の内容はよく分かりますか	85.3%	88.9%

各教科に対する学習状況調査の回答は左の表の通りです。国語の問題は、全国平均並みに正答していますが、「好き」ではないようです。逆に理科の学習は、「好き」ですが、正答率は全国平均を下回りました。このことを真摯に受け止め、子どもたちに「分かる授業」「楽しい授業」を提供できるよう、職員一丸となって、授業改善に努めて参ります。一方で知識や技能の定着には、反復練習が有効とされています。家庭学習習慣の定着にご協力をお願いいたします。

【学習状況に関する調査結果について】

下の表は、学習状況調査結果の中から、ご家庭と連携して取り組みたい項目について、本校児童の回答を経年比較したものです。数値は「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」の肯定的回答の合計（％）です。

質問	R7	R6	R5	R4	R3
朝食を毎日食べていますか	91.8%	90.5%	88.4%	90.9%	94.9%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか	82.0%	69.8%	79.1%	70.9%	76.3%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか	88.6%	84.9%	90.7%	87.2%	79.7%
平日1日あたりの学習時間（1時間以上）	60.7%	35.8%	58.1%	50.9%	57.6%
平日1日あたりの読書時間（30分以上）	37.7%	46.5%	32.7%	45.7%	35.5%

学習状況調査から、生活習慣に改善の兆しを感じています。保護者の皆様のご協力のおかげと感謝しています。しかし、1学期の「生活ふり返り」では、6年生の平均睡眠時間は8時間49分、平日のゲーム・スマホ時間は92.8分でした。次は、スマホ・ゲームの時間を削減し、睡眠時間を増やすことをめざしていきたいと考えます。お子様への声かけにご協力をお願いいたします。

令和7年度 花里の子学力向上プラン

「学校・家庭・地域による教育ONE HANASATOの協育」実現に向けた10の取組



【安心できる居場所づくり】

- ①ユニバーサル・デザインの学習環境
- ②対話を大切にした指導・支援
- ③カラフルな学習の場

〔クラスルーム、かがやき教室、まなびルーム、スマイルルーム〕

- ④子どもたちが活躍できる場づくり〔委員会活動、クラブ活動、ペア学級、学校行事〕

【学力向上】

- ⑤地域・家庭・学校による協育〔自主学习教室、家庭学習の手引き、土曜学習、学力向上研修会〕
- ⑥外部講師による出前授業
- ⑦読書活動の活性化
- ⑧各教科の具体的な取組に基づく「分かる授業」

【基本的生活習慣の獲得】

- ⑨「生活ふり返し週間」による生活チェック
- ⑩SNSやゲーム使用の「我が家のルールづくり」

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	・授業を「音読→書く→読む」のサイクルでパターン化(学習への見とおし)する ・劇化や成果物の作成等、言語活動の充実(学習意欲の維持)を図る	・読書時間の確保に努める ・読み聞かせや本紹介等によって読書意欲を高める ・デジタルドリルやプリントの活用して漢字の反復練習を行う	・読書時間の確保に努める ・国語辞典を積極的に活用し、理解語彙を増やす ・既習漢字の反復練習を行う ・自分の意見や考えを文章にしたり話ししたりする学習機会の設定	・単元の学習計画を立てて、学習に見通しをもつ ・辞書活用を日常化し、理解語彙の増加を図る ・授業のふり返しやまとめ等で既習漢字使用の意識付けを図る	・ゴールを意識して学習計画を立て、見通しをもって学習する ・字數制限等、条件に合わせて、自分の思いを書く学習を取り入れる ・指定した言葉を使った文づくり等の学習で用語意識の増加を図る	・ゴールを意識して学習計画を立て、見通しをもって学習する ・問答ゲーム等、自分の意見やその根拠を明確に伝える学習活動 ・主語、述語の関係を捉える練習問題に取り組む
算数	・具体物を使った操作を取り入れ、数や量、形についての概念への理解を深める ・音読計算を取り入れ、繰り上がり、繰り下がり計算力の定着を図る	・具体物の量の測定や比較等の活動を通して、量の概念を育む ・九九道場、音読計算などを活用し、九九の定着をめざす ・3桁までの足し算、引き算の反復練習(音読計算)を行う	・前学年までの内容の反復練習(図形、長さ、かさを中心に) ・九九道場、ドリル等で九九の習熟を図る ・わり算の反復練習(2桁÷1桁)を行い、計算力を高める	・問題文をきちんと読む習慣を付け、題意を捉える力を高める ・四則計算の反復練習や既習事項の付記集を適宜取り入れて、基礎的な計算能力の底上げを図る	・実物やICT機器の操作を伴った図形の学習活動(立体、平面図形)を取り入れ、図形に対する理解を深める ・分数や小数の計算、四則計算の筆算などの反復練習を行う	・身近な事象を取り上げて教材化し、学習への興味を高める ・必要に応じて音読計算を取り入れ、計算力を高める ・朝学で図形や割合の反復練習プリントに取り組み、理解を深める
理科(生活)	・五感(視・聴・嗅・味・触)を使って観察し、みつけっカードに絵や文をかく ・タブレットのカメラ・アルバム機能を用いて、日記や観察記録に写真を貼り付ける ・一日入学等において、自分の役割を果たすために必要な準備を考え実行する ・様々な学習において、相手意識を持って活動する	・五感(視・聴・嗅・味・触)を使って観察し、みつけっカードに絵や文を詳しくかく ・図鑑や本を使って調べたり、自分の言葉でまとめたりする活動を取り入れる ・結果を予想したり、理由を考えたりする活動を取り入れ、見通しをもって学習に取り組む ・学習したことを発表する場を設定し、相手意識をもって発表内容をまとめる	・予想を立てて、観察や実験を行い、結果と比べる ・観察カードや実験の記録をかく 場面では、分かったことを自分の言葉でまとめる ・実験したことが、生活のどの場面で起こっているか考える	・既習内容や生活経験を根拠に予想や仮説を発想する ・実験、観察の結果を自然の事象や現象同士を関係づけたり、既習の知識や生活経験と関連付けたりする	・見とおしをもって学習できるよう目標を示し、学習計画をたてる ・日常生活での経験を基に考えた予想から解決するための方法を発想し実現させる ・ICTや実物、模型を活用して理解を深める	・既習事項や経験を根拠に予想や仮説を立て、実験や観察を行う ・実験・観察結果の処理や考察の場面では、自分の考えをもって意見交換や議論を行い、自分の考えをより妥当なものにする
社会(生活)	・就学前の体験を生かし、身近にあるものを並べる・つなげる・積む等、手や体全体の感覚を働かせて造形遊びを楽しみ、主体的に表現する力を育む ・身近で扱いやすい用具を安全に使うことができるよう、繰り返し経験する機会を設ける ・手順やゴールの可視化を図るとともに、個に応じた支援を行う	・材料・用具・方法の幅を広げる題材を工夫し造形活動の楽しさを味わいながら試行錯誤できる力を養えるよう年間指導計画を立てる ・体全体で空間を生かしたり、友人と交流しながら発想・構想できる造形活動をバランスよく取り入れる ・活動の中に思考し構想を練る時間や友人と共有する言語活動の場を設ける(4年)	・近辺の物を見たり、体験したりする活動を取り入れ、理解を深める ・資料や地図を読み、相違点に着目して、白地図や新聞にまとめる	・身近なものから課題や疑問点を見つけ、主体的に課題を解決する力を育むため、学習計画を立てる ・見学したこと、調査したこと等を白地図や新聞、年表にまとめる ・47都道府県をすべて覚える	・複数の資料や事象を比較、分類、関連付けて課題や疑問点を見つけ、解決に向けて計画的に学習する ・社会的現象と生活を関連付けて、考えをまとめる学習に取り組む	・複数の資料や事象を比較、分類、関連付けて課題や疑問点を見つけ、解決に向けて計画的に学習する ・「衣食住」に着目して時代の流れと変化を考え、まとめる
図工	・就学前の体験を生かし、身近にあるものを並べる・つなげる・積む等、手や体全体の感覚を働かせて造形遊びを楽しみ、主体的に表現する力を育む ・身近で扱いやすい用具を安全に使うことができるよう、繰り返し経験する機会を設ける ・手順やゴールの可視化を図るとともに、個に応じた支援を行う	・材料・用具・方法の幅を広げる題材を工夫し造形活動の楽しさを味わいながら試行錯誤できる力を養えるよう年間指導計画を立てる ・体全体で空間を生かしたり、友人と交流しながら発想・構想できる造形活動をバランスよく取り入れる ・活動の中に思考し構想を練る時間や友人と共有する言語活動の場を設ける(4年)	・近辺の物を見たり、体験したりする活動を取り入れ、理解を深める ・資料や地図を読み、相違点に着目して、白地図や新聞、年表にまとめる	・身近なものから課題や疑問点を見つけ、主体的に課題を解決する力を育むため、学習計画を立てる ・見学したこと、調査したこと等を白地図や新聞、年表にまとめる ・47都道府県をすべて覚える	・自分のイメージを持ち、それを文章に表現することで、形にするための表現活動を計画的に行う力を育む ・様々な視点から表現に生かす広がり、題材の導入や表現方法、配列を工夫する ・造形活動を通じ、結果より、試行錯誤の過程を楽しむことを大切にすることを育て、一人ひとりの気持ちや思いを尊重する	・自分のイメージを持ち、それを文章に表現することで、形にするための表現活動を計画的に行う力を育む ・様々な視点から表現に生かす広がり、題材の導入や表現方法、配列を工夫する ・造形活動を通じ、結果より、試行錯誤の過程を楽しむことを大切にすることを育て、一人ひとりの気持ちや思いを尊重する
音楽	・体の部分を使い、楽しく体感しながら、めあてに向けてスモールステップで、題材に取り組めるよう支援する ・音遊びやリズム遊びを通して、音楽の要素(リズム、速度、旋律、強弱、反復等)に興味をもてるようにする ・鍵盤ハーモニカや基本的な打楽器を使って、簡単な合奏を楽しむ ・ペアやグループで聞き合い、良いところを見つけ合う	・リコーダーに楽しく取り組めるようレクリエーション的要素を取り入れる ・自分の音をよくきけるようにグループ活動やペア活動を取り入れて良いところを見つけ合う ・みんなの前で歌ったり、演奏したりする機会をつくり挑戦できたことを褒めて、自信をもたせる	・リコーダーに楽しく取り組めるようレクリエーション的要素を取り入れる ・自分の音をよくきけるようにグループ活動やペア活動を取り入れて良いところを見つけ合う ・みんなの前で歌ったり、演奏したりする機会をつくり挑戦できたことを褒めて、自信をもたせる	・リコーダーに楽しく取り組めるようレクリエーション的要素を取り入れる ・自分の音をよくきけるようにグループ活動やペア活動を取り入れて良いところを見つけ合う ・みんなの前で歌ったり、演奏したりする機会をつくり挑戦できたことを褒めて、自信をもたせる	・意欲的に取り組めるよう、児童の興味に応じた題材を取り上げる ・どの子も「できた」という経験を増やせるように、個に応じて難易度を調整する ・発表に向けて、見通しをもって努力したり挑戦したりする過程を価値づけて、やりきる力をつける	・意欲的に取り組めるよう、児童の興味に応じた題材を取り上げる ・どの子も「できた」という経験を増やせるように、個に応じて難易度を調整する ・発表に向けて、見通しをもって努力したり挑戦したりする過程を価値づけて、やりきる力をつける
家庭					・自分の身の回りのことを少しずつできるようにすると共に、たくさんの人に支えられていることを実感し、感謝の気持ちを持つと共に、自分のできることを考える ・実践的・体験的な活動を通して、家庭内の仕事を実践する喜びや作品を完成させる達成感を味わえるようにする	
体育	・「遊び」の中で、体を動かし、友達と仲良く活動することができるように配慮し、支援する ・いろいろな遊びや動きを通して、体を動かすことの楽しさを実感できるよう、場の設定や道具を工夫する	・日々の体育の宿題や休み時間の外遊びを通して、体を動かす習慣や基礎体力の定着をはかり、体を動かす楽しさを知る ・体を動かす楽しさを感じながら、友だちと協力して運動できるような場の設定やルールを工夫する	・ICTや視覚教材を活用し、日本以外の国についての興味・関心を持ち、外国に対しての理解を深められるよう働きかける ・歌やゲームを通じ外国語でのコミュニケーションの基礎を身につける	・ICTや視覚教材を活用し、日本以外の国についての興味・関心を持ち、外国に対しての理解を深められるよう働きかける ・言語活動を通じ基礎的な単語や表現を楽しむ学べる場を効果的にもうける	・様々な動きを取り入れて、体をコントロールする力を身につけ、体を動かすことの楽しさを実感できるようにする ・友だちと協力して運動を楽しみ、お互いの技術を高め合えるよう、場の設定やグループ編成等を工夫する	・様々な動きを取り入れて、体をコントロールする力を身につけ、体を動かすことの楽しさを実感できるようにする ・友だちと協力して運動を楽しみ、お互いの技術を高め合えるよう、場の設定やグループ編成等を工夫する
外国語			・ICTや視覚教材を活用し、日本以外の国についての興味・関心を持ち、外国に対しての理解を深められるよう働きかける ・歌やゲームを通じ外国語でのコミュニケーションの基礎を身につける	・ICTや視覚教材を活用し、日本以外の国についての興味・関心を持ち、外国に対しての理解を深められるよう働きかける ・言語活動を通じ基礎的な単語や表現を楽しむ学べる場を効果的にもうける	・外国語に親しみを感じられるよう、日常生活と結びつけた題材を使い、簡単な表現を用いて自身の考えを発表する場を設ける ・学習内容の定着を図るため、帯活動やグループ活動を活用する	・「聞く・話す」活動を中心に、簡単な単語や基本的な表現を用い、自身の考えを発表する場を設ける ・繰り返し既習内容を確認する場を設け、学習内容の定着を図る
道徳	・題材のできごとを、生活と結びつけて「自分ならどうする」が考え、友だちと交流する場を設定する ・ICTを活用して短時間で内容を理解できるようにし、考える時間を確保する	・題材をとおして、相手の気持ちを察したり、考えたりできるよう課題設定を工夫する ・日常生活に繋げて考えさせる ・相手の意見をよく聞き、自分の考えとの相違点を考え、さらに深められるよう、グループ学習を取り入れる	・題材をとおして、相手の気持ちを察したり、考えたりできるよう課題設定を工夫する ・日常生活に繋げて考えさせる ・相手の意見をよく聞き、自分の考えとの相違点を考え、さらに深められるよう、グループ学習を取り入れる	・題材をとおして、相手の気持ちを察したり、考えたりできるよう課題設定を工夫する ・日常生活に繋げて考えさせる ・相手の意見をよく聞き、自分の考えとの相違点を考え、さらに深められるよう、グループ学習を取り入れる	・題材のできごとを客観的に捉え、相手の置かれている立場を考えた、相手のためになる対処の方法を考えたりできるようグループ学習を取り入れる ・自己と他己の両方を大切にできるように様々な視点から考える機会を設ける	・題材のできごとを客観的に捉え、相手の置かれている立場を考えた、相手のためになる対処の方法を考えたりできるようグループ学習を取り入れる ・自己と他己の両方を大切にできるように様々な視点から考える機会を設ける
総合			・子どもたちの身近なことから課題を見つけ、見通しを持って学習に取り組む事で主体的に学習に取り組める手立てとする ・体験的活動、グループ学習、地域人材の活用等を活用した学習を設定する	・子どもたちの身近なことから課題を見つけ、見通しを持って学習に取り組む事で主体的に学習に取り組める手立てとする ・体験的活動、グループ学習、地域人材の活用等を活用した学習を設定する	・児童発信イベントを企画・立案をし、探求的学習に取り組ませる ・学習したことを発表する場を設定し、達成感が味わえるようにする ・友だちと互いの考えを認め合い、収集した情報を比較したり、分類したり、関連づけたりして考えるグループ活動を取り入れる ・各単元の学習をとおして、自分の将来について多角的に考える	・児童発信イベントを企画・立案をし、探求的学習に取り組ませる ・学習したことを発表する場を設定し、達成感が味わえるようにする ・友だちと互いの考えを認め合い、収集した情報を比較したり、分類したり、関連づけたりして考えるグループ活動を取り入れる ・各単元の学習をとおして、自分の将来について多角的に考える